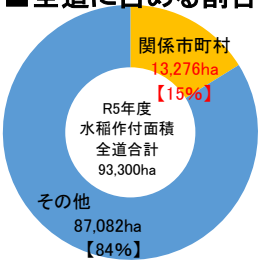
## 1 地域の概要

- 石狩川中流域に広がる稲作を中心とした農業地帯
- 水稲作付面積が全道3位（岩見沢市）6位（美唄市）を受益とする「米どころ」雪の冷熱を活かした貯蔵
- 北海地区の関係市町村で、約1.3万haの水稲を生産→全道の約15%を占める
- 水稲のほか、たまねぎ、はくさいなどは、野菜指定産地の指定を受け、道内有数の産地

### ■石狩川中流域の水田地帯

### ■全道に占める割合



ブランド米の生産販売を実施

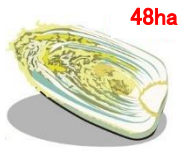
### ■再生可能エネルギー活用の取組

豪雪地帯の地域特性を活かし
従来の冷房より電量量9割削減

雪蔵工房（JAびばい）

雪米（ゆめ）の蔵 （JA新すながわ）

岩見沢市のたまねぎ
全道4位の作付面積(R5)



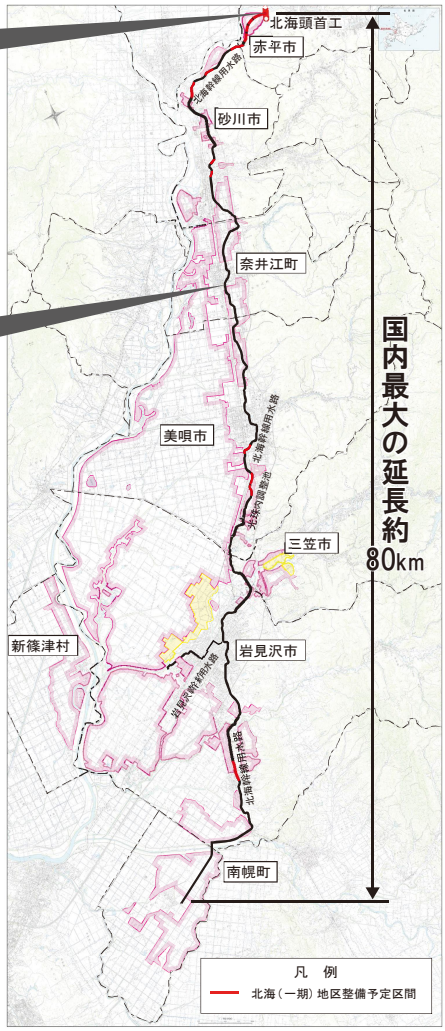

岩見沢市のはくさい
全道1位の作付面積（R5）

## 2 地域の現状と課題

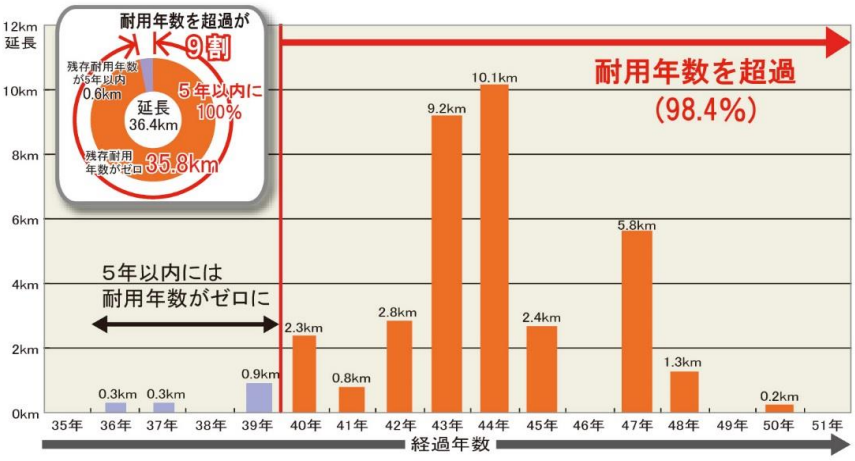
- 国内最大規模の「北海頭首工」・「北海幹線用水路」が、地区内の水稲生産を支えている
- これらの既存施設は、築造後40年以上を経過する施設が約9割
- 5年以内に、ほぼ全ての施設の残存耐用年数がゼロ
- 積雪寒冷地に対応した構造となっておらず「水路倒壊」等のおそれ

▲北海頭首工と北海幹線用水路の起点部

▲倒壊した北海幹線用水路




### ■北海幹線用水路及び岩見沢幹線用水路 既設使用区間の造成後経過年数（H25時点）



## 3 事業目的

北海地区の農業用用水施設は、老朽化・凍上等によるコンクリートの劣化が進行している。

また、北海幹線用水路は、長大な水路であるため、効率的な用水管理や施設管理に苦慮している。

このため、本事業では頭首工及び幹線用水路を整備し、農業用水の安定供給、維持管理の軽減、用水管理の効率化を図り、農業経営の安定と地域農業の振興に資するものである。

## 4 事業計画概要

**受益面積**：27,002ha（田26,269ha、畑733ha）
**関係市町村**：岩見沢市、美唄市、赤平市、三笠市、砂川市、南幌町、奈井江町、新篠津村
**受益戸数**：2,329戸
**主要工事**：頭首工1カ所（部分改修）、用水路2条（L=36.4km）
**主要作物**：水稲、小麦、大豆、たまねぎ、小豆、キャベツ、はくさい、花き
**事業工期**：平成22年度～

## 5 老朽化状況と改修適期

▶ 施設機能診断調査の結果から、「北海頭首工」、「北海幹線用水路」の健全度評価（老朽度）として、Ⅳ～Ⅰランクに区分

▶ 緊急度の高いⅣランクから、随時、改修する工事工程計画を策定

**■施設機能診断調査結果**

**▼北海頭首工**

| 工種 | 部位 | グレード |
|---|---|---|
| 土砂吐 | 堰柱 | Ⅱ：要観察 |
| | 管理橋 | Ⅱ：要観察 |
| 洪水吐 | 堰柱 | Ⅱ：要観察 |
| 護床 | エプロン | Ⅱ：要観察 |
| 取水口 | ― | Ⅲ―2：補強 |
| 護岸 | 擁壁 | Ⅱ：要観測 |

北海地区で対応

▲北海頭首工・取水口

**▼用水路**

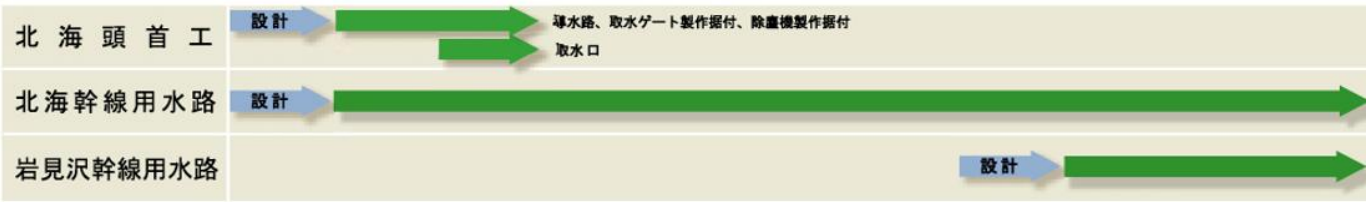
| グレード | 北海幹線用水路(km) | 岩見沢幹線用水路(km) |
|---|---|---|
| Ⅳ：改築 | 22.2 | 1.0 |
| Ⅲ―2：補強 | 10.0 | 1.2 |
| Ⅲ―1：補修 | 0.8 | 1.2 |
| Ⅱ：要観察 | ― | ― |
| Ⅰ：対策不要 | ― | ― |

※Ⅲ-2、Ⅲ-1は、経済比較の結果、最も有利となったⅣと同様の改築を行う。

北海地区で対応

▲凍上力・雪庇力の影響による傾倒

**■緊急性・優先度・早期効果発現を踏まえて改修時期を設定**

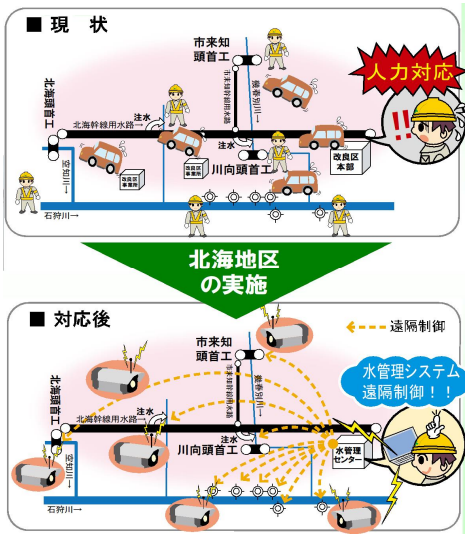



※施設毎の優先度：「北海頭首工」→「北海幹線用水路」→「岩見沢幹線用水路」
※施設内の優先度：「上流部→下流部」、「劣化グレード上位→下位」、「市街地→農地」を評価して順位付け

## 6 用水管理の向上

▶ 長大な用水路で広域につながっているため、水管理や土砂流入対策が必要 ⇒降雨時等の水利制御施設や土砂排出のための進入路の整備

▲土砂排出スロープの設置例




担当：北海道開発局　札幌開発建設部　岩見沢農業事務所　（TEL 0126-22-1760）